彩の国男声コーラスフェスティバル２０１９に出演

　標記演奏会が、２０１９年１０月５日(土)、埼玉会館大ホールで開催された。
今年は、記念すべき３０周年にあたり、昨年より多い３１団体が参加した。
　（参加団体名、演奏曲等は、後掲“彩の国男声コーラスフェスティバル 2019”参照）
　志木グリークラブは、初谷敬史先生の指揮により、メンデルスゾーン作曲の「Beati　mortui(死者に祝福あれ)」「Lerchenge　sang(おおひばり)」を演奏した。
　当日は、10 時 30 分に埼玉会館に集合し、会館広場で練習し本番に備えた。
（練習状態を参考に演奏順を 1 曲目「おおひばり」2 曲目「死者に祝福あれ」に急遽変更）
　11 時 40 分に開演し、来賓挨拶の後、全員で「いざ起て戦人よ」を歌った。
志木グリークラブは、全体の 2 番目に演奏した。
　１曲目の「Lerchenge　sang(おおひばり)」は、昔から馴染みのある曲である。
(この曲は、42 年前 TBS-TV 放送のドラマの中で歌われ一般化した)
カノン形式（複数の声部が同じ旋律を異なる時点からそれぞれ開始して演奏する）で、ポリフォニーの 1 つの典型の曲である。一般的には、輪唱と訳される。
我々は、まず、テノールとバリトンが、歌い始め 11 章節遅れてセカンドテノールとベースが歌い始める形で演奏した。カノンの難しいところは、他のパートを聴き過ぎると自分のパートが歌えなくなり、他のパートを聴かなかったら輪唱の面白さが出せないところである。我々爺さん達にとっては、このことが簡単なようで意外と難しかった。まあ、本番に強い？（自惚れ）爺さん達は、何とか歌い切った。
（日本語歌詞で演奏した。ドイツ語歌詞での演奏は、またの機会にとっておこう）

Wie lieblicher Klang,
o Lerche, dein Sang!
er hebt sich, er schwingt sich in Wonne.
Du nimmst mich von hier,
ich singe mit dir,
wir steigen durch Wolken zur Sonne.

日本語訳（高野辰之）
おお雲雀　高くまた　軽（かろ）く　何をか歌う
天の恵　地の栄
そを称えて　歌い
そを寿（ことほ）ぎ　歌う
恵称え　栄寿ぎて　歌う

２曲目の「Beati　mortui(死者に祝福あれ)」は、ハーモニーの美しい曲である。ラテン語の歌詞で歌えば、美しいハーモニーが出せた（？？）かも知れないが、外国語の歌詞の歌に不安があり、今回は初谷先生訳詞の日本語で演奏した。

曲想は、Andante　sostenuto で、pp、mp、mf、f、crescento、decrescento、dim と目まぐるしく変化させて歌うように指導を受けた。日本語の歌詞で歌うので、最初は歌いやすいと思ったが、いざ歌うとなると、それぞれの音符の長さに日本語の歌詞を合わせるのが、大変難しいことに気付いた。このことは、最後まで克服できなかったようである。

Beati　mortui　in　Domino　morientes　deinceps
Dicit　enim　Spiritus
ut　requiescant　a　laboribus　suis
et　opera　illorum　sequuntuh　ipsos

日本語訳（初谷敬史訳）
幸いである　主のもとで死ぬ者は
聖霊が語る
苦しみから解かれ　安らぎを得る
彼らの行いが　報われるから

３１団体の演奏が終り、山脇卓也先生の指揮による合同演奏(「鷗」「オンザロード」)があった。

引続き、３団体(川越高校音楽部、Il　Campanile、Canetis)に特別賞が授与された。１６時に予定どおり終演となった。

(和氣　敏夫記)

Japan Choral Association Kanto

彩の国男声コーラスフェスティバル2019

30回連続出場団体

Il Campanile

男声合唱団コール・グランツ

令和元年10月5日（土）　Ⅰ. 練習会10:20開始
Ⅱ. 演奏会11:40開演

於：埼玉会館　大ホール

主　催：埼玉県合唱連盟・朝日新聞社
共　催：全日本合唱連盟関東支部
後　援：埼玉県・埼玉県教育委員会・さいたま市
協　賛：*iichiko*

さあ、皆さん！「本当の俺」になれる「男フェス」が今年もやってきました!!
～ ３０年の歴史を刻んだ男たちの歌声 ～

埼玉県合唱連盟理事長
小澤　剛　夫

本日は、「彩の国男声コーラスフェスティバル2019」にご参加・ご来場くださり、誠にありがとうございます。開幕にあたり、本年も三和酒類さんのご協賛を賜わって乾杯ができることは大変ありがたく、ここに厚く御礼申し上げます。

本年は第30回目を迎えての開催です。企画に先駆け埼玉県川口市のビル工場で産声を上げた当時の「おとうさんコーラス大会」は、青年の愛唱歌集も制作してどんどん盛り上がって行きました。その後、東京支部を中心に様々な所からもご参加いただくようになり、史にそのあとには各県の持ち回り開催でおこなわれるようになっていきました。

その後、業績地は埼玉県に定まり、関東支部の経済的援助に支えられながら参集された皆さまにご満足いただける大会の男フェスをと取り組んでおります。

本日も、ご参加の皆さまにおける歌唱の所々に加えて、山福先生による合同演奏「鳥」「オンチコ」の指導・本番、そして「若者たちへの特別レッスン」、また、30回連続出場団体ご表彰を含めての表彰もご用意いたしました。この大会の特色の一つである「国際的な」、に触れられ、みんなで歌っているうちに、それ自体を楽しみ、充実した男声合唱の場になれたら嬉しいです。

さ、思う存分歌いましょう！

彩の国男声コーラスフェスティバル 2019 挨拶

さいたま市長　清　水　勇　人

本日ここに、彩の国男声コーラスフェスティバル2019が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また、埼玉県合唱連盟の皆様方におかれましては、日頃より当市を通じて本市の文化芸術の振興に多大なご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

本市では、豊かさと心豊かに暮らせる文化芸術都市の創造に向け、様々な文化芸術に取り組んでまいりました。来年には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、サッカーとバスケットボールの競技会場となる本市に世界の目が注がれることとなり、日本の文化を海内外に発信し、文化芸術都市として発展するための絶好の機会と考えております。さいたま国際芸術祭2020の開催や器楽人材育成館の整備などの準備を進しており、現在、着実に準備を進めているところです。

本市が今後さらに文化芸術都市として発展するためには、文化芸術活動に携わる方々の積極的な活動が不可欠です。埼玉県合唱連盟の皆様方におかれましては、合唱の魅力と楽しさを多くの市民にお伝えいただき、今後とも本市の文化芸術の発展のために御尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

結びにあたり、本日のフェスティバルの御成功と、埼玉県合唱連盟の益々の御発展、会員の皆様の益々の御健勝をお祈り申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

ご　あ　い　さ　つ

全日本合唱連盟関東支部
支部長　松　原　眞　介

今年度も、男声コーラスフェスティバルの季節になり、今回は、第1回おとうさんコーラス大会が開催されてから記念すべき30回目を迎え、「彩の国男声コーラスフェスティバル2019」と銘打って、ここ、さいたま市埼玉会館大ホールでの挙行となりました。

また、今回も講師として山福中也先生をお迎えし、先生の振り上げる合唱演奏が、きっと素晴らしい響きの男声コーラスであることと期待し、楽しみにしております。

そして、ここ彩の国埼玉県の合唱団をはじめ、それぞれの合唱団がきっと力強く重厚なハーモニーを会場の隅々まで響き渡らせ、私たちに驚きと感動を与えてくれるものと思います。

この埼玉会館というすばらしいホールでの演奏は、彩の国らしく絵を彩りを感じ、美しいアンサンブルであることを期待し、更にそれぞれの合唱団の交流を通してハーモニスの輪を広げて頂きたいと思います。

この「彩の国男声コーラスフェスティバル2019」の開催にあたり、ご支援頂きました関係各位、また大会運営にあたられる埼玉県合唱連盟の皆様に心より感謝申し上げ、あいさつに替えさせて頂きたいと思います。

皆さんで思い切り楽しみましょう！

講師プロフィール

山福中也

早稲田大学大学院理工学研究科修了情報通信学専攻修了。在学中グリークラブにて学生指揮者を務める。故平田勝一氏に指揮の手ほどきを受け、合唱音楽全般において師匠支援氏の影響を受ける。「男声合唱の魅力を余すことなく伝えたい」、そんな思いで「合唱団和「声コラリアーず」を共にアクティブな活動を繰り広げ、演奏会・コンクール等で高い評価を得ている。ほかに東京純心大学合唱団、立正大学グリークラブ、女声合唱団ひまわりーと、関東アカデミー合唱団等においても指揮を務めるほか、客演指揮・指導も積極的に行っている。日本合唱指揮者協会会員。

プ　ロ　グ　ラ　ム

（１）うたごえ男声専科 "Goodday Papa"（13名）
（6年連続7回目／越谷市）
指揮　大野　伊子
ピアノ　熊田　かおり

夢をかなえてドラえもん　　黒柴　貴彦 作詩・作曲
花が咲く日は　　松井　五郎 作詩
　　藤出尾　隆 作曲

第1作目の曲、コードードリに作一度のリフレッシュタイムを楽しんでいる、うたごえ男のグループの男声合唱です。曲でまつわる「夢」「花」を題材ながらジャンルを超えて幅広くお聴きいただけるよう、お届けいたします。お聞いたっても、夢を持て、夢を叶う、夢を、半歩でも近づいてゆけるように、一緒に歩いてゆきたいと願います。

（２）志木グリークラブ（10名）
（28年連続28回目／志木市）
指揮　荒巻　夜史

死者に祝福あれ（Beati Mortui）　　メンデルスゾーン 作曲
　　荒野　誠之 作詞
お祈（Lerchenge Sang）　　メンデルスゾーン 作曲

今回もなんとか歌うことができました。1992年頃に結成後、紆余曲折ありましたが、現在は、男声の魅力と楽しさを追求しております。現在も老若に受け入れ、なかなか、若き時代を過ぎ去ってゆく方々に歌い続けています。
今年は、メンデルスゾーンの曲に挑戦しております。男声合唱の音楽曲と出逢う喜びを、楽しむ年となっています。

（３）船橋古和釜男声合唱団（20名）
（4回目／1度県参加市）
指揮　小島　清幸

Vocalise　　S. Rachkowis 作曲
Heiden&ein　　J. W. V. Goethe 作詩
　　H. Werner 作曲
　　石井　歌 編曲
ビール樽　　北原　白秋 作詩
　　梅本　匡彦 作曲

我々船橋古和釜男声合唱団は、千葉県立船橋高等学校声楽研究部が母体となった合唱団です。当時は混声合唱で活動していますが、誰もが「ハーモニー」が好きで、このフェスティバルを続けてきました。人数も少なく、若の方とも多くいらっしゃるかもしれませんが、ぜひ、ご参加されて頂けたらと思います。

（４）男声合唱団 APERTASS（20名）
（武蔵野／越谷市）
指揮　松井　大
ピアノ　横本　美光

男声合唱とピアノのための「６つのジュエル」より　　寺山　修司 作詩
　エメラルド　　上田　敏雄 作曲
　ガーネット

私たち男声合唱団ペルタスは毎年男声合唱の魅力を追求、楽しく、切磋琢磨して大事の会に、全セッションに力を傾けております。今年で第30回と歴史あるコンクールに参加できることをとても嬉しく思っております。
平均年齢60歳の若いグループではありますが、そこに溢れる様にフレッシュかつ爽やかな歌声をお聞かせします♪

（5）ドン・キホーテ男声合唱団（18名）　指揮　河戸修剛
（2年ぶり8回目／宝塚市）

男声合唱組曲「水車小屋」より
　　北原　白秋 作詩
　　多田　武彦 作曲

男声合唱組曲「雪」より
　　大木　惇夫 作詩
　　多田　武彦 作曲

　　雨の日に見る

阪神地区のメンバーによって昭和56年に結成したドン・キホーテ男声合唱団です。毎年は数回の演奏会を開催することができ、これを続ける地元の方々と共に歩みを続ける為に結成されました。今年のお時期にはフェスティバルの実施となりました。今年は「日本合唱祭」で演奏しようと思っています。楽しく歌います

（6）男声合唱団「みちくさ」（10名）　指揮　榎　聖太
（2年ぶり2回目／西宮市）

椅子の旅
　　鳥海　昭村 作詩
　　大中　恵二 作曲
　　渡辺俊一郎 編曲

　　詩をおさめて
　　時雨　音羽 作詩
　　三善　晃 作曲
　　信長　貴富 編曲

緑と青を中心に活動しています。毎年のフェスタ参加で盛り上がる。今はOB会員の参加です。演奏中の合唱フィナーレの後、懇親の祝宴会を行っています。

（7）男声合唱団 Le Terre（ルテール）（15名）　指揮　吉田敬泉
（2年連続2回目／さいたま市）

Ride The Chariot
　　Spiritual
　　Wm. Henry Smith 編曲

　　夏太鼓節
　　宮城県民謡
　　竹花　秀毅 編曲

長い伝統のある歌を中心に活動する、男声合唱団です。クラブOBで結成された男声合唱団です。今年は、ミ・ボ・ア・ア・ア

（21）洋光台男声合唱団（98名）　指揮　上杉　明
（7年連続14回目／神奈川県）

男声合唱のための「オルターク・スケッチ1」より　寺島　陸也 作曲
　ソーラン節～にやさか音頭

おとうさんコーラス、そしてOBの広瀬ファン集団が同じ組織でひとつになった。地域密着の洋光台男声合唱団です。今日は広瀬OBの神原さも一緒に歌うことになりました。毎広瀬君の皆さんのおかげで、今年も楽しいひとときを過ごすことができることを感謝して歌います！

（22）ベーレンタール男声合唱団（16名）　指揮　古澤　利人
（4年連続13回目／横浜市）

男声合唱組曲「柳水風俗詩」より　北原　白秋 作詩
　Ⅲ　かきつばた　多田　武彦 作曲

ベーレンタール男声合唱団「回帰」　古澤　利人 作詩・作曲

ベーレンタール男声合唱団は、1997年、神奈川県横浜市にて、「楽しみを歌う会」の団員メンバーによって結成された合唱団です。ベーレンタールとは、ドイツ語の「Bären（熊）」と「Tal（谷）」の造語です。力強さと豊かな広がりを持ち、心から湧き出る表現のさまざまな男声合唱曲を目指しています。

（23）男声あんさんぶる「ポパイ」（11名）　指揮　大岩　勇昭
（28年連続28回目／春日部市）

「徹夜祭」より　Sergei Rachmaninov 作曲
　Ⅵ　Bogoroditse Devo（生神女讃歌／Ave Maria）　信長博一郎 編曲

Sverigres Ilanga（スウェーデンの歌）　Karl Gustav Ossiannilsson 作詩
　Hugo Alfvén 作曲

クレヨンしんちゃんでお馴染みの春日部市から参りました。男声合唱が大好きな男達です。高校大学などなつかしの合唱部でOBとなった「昔の血が騒ぐ」メンバーです。これを機会にしてくださった皆様方の地域には感謝、感謝です！あぁ！男に生まれて良かったなぁ～！！

（24）コーロ・メタボリックス（9名）　指揮　梅田　正一
（4年連続10回目／上尾市）

わしら社色物合唱団　Teyandy Beravorne 作詩
　Kel Edochiamo 作曲

メタボリック賛歌　Teyandy Beravorne 作詩
　Kel Edochiamo 作曲

30回記念大会、頑張ありがとうございます。この日のためにレパートリーを設定させて頂きます。今回も地元なつかしのオリジナル作品を2曲、当日までご期待ください。

（25）埼玉栄高等学校コーラス部（13名）　指揮　杉江　恭輔
（和光市／さいたま市）

男声合唱　忘れたち～同和感謝に見る4つの母像～より　英梅　昭宗 作詩・作曲
　コイトマクの唄　佐長　貴宏 編曲

混声合唱として発足していた歴史ですが、この頃は男声合唱に挑戦中です。今年度入部したフレッシュな1年生と、たった3人の2年生合わせて13人のコーラス部高等パートの歴史を伝承しながら楽しんでおります。戦時直後の混乱で困窮のため学問をテノール歌手等に頼ってきた、女子部活動からの検討して、

（26）メンネルコール JOY（8名）　指揮　赤羽　裕子
（2年ぶり15回目／熊谷市）　ピアノ　ユリヤ・ウヴ

「COLORS」より　三浦　清美 編曲
　ありがとう　水野　良樹 作詞・作曲
　海鼠色の地球　松本　隆 作詩
　　平川　夏実 作曲

メンネルコールJOYは、合唱はJOYの名前パートの有名で2001年に結成しました。男声合唱の魅力に惹り惹かれ、立ち上げられた合唱団です。ポップス、ポピュラー、民謡等幅広いジャンルを楽曲の優しさ、強さ、ユニークに変えられる。雰囲気の美しい声部構成で、楽しく歌っています。関西国際声コーラスフェスティバル」を開催しました。

（27）メンネルコールありの実（18名）　指揮　齋藤　詩子
（6年連続14回目／戸田市）　ピアノ　山崎　美保江

夜のうた　荒川　啓大 作詞
　佐々木律哉 作曲

いのちの歌　Miyabi 作詩
　村松　崇継 作曲
　吉澤　裕 編曲

歌劇「カルメン」より　G. Bizet 作曲
　闘牛士の歌　堀内　敬三 訳詞

こんにちは、メンネルコールありの実です。昨年は「高大作」になってトリを務めましたが、その後体調不良の末、残念な2人の事情を乗り越えて、今年は、この頃に昭和歌謡ばかりを歌ってきた合唱を楽しつつ、「いのちの歌」を中心に、青春のひかりに輝かせる「夜のうた」といった作曲する「ピアノ」「闘牛士の歌」を演奏します。

（28）Quarta ～歌流多～（4名）
（3年ぶり2回目／さいたま市）

So Much in Love　George Williams/William Jackson/Roy Straight 作詩・作曲
　David Harrington 編曲

No Other Love　Rob Russell/Paul Weston 作詩・作曲
　David Wright 編曲

この頃は、男声4人グループを10年以上前に卒業した4人のアンサンブル「Quarta（カルタ）」。最近お聴きのは「和洋男声の伝説的なアカペラスタイル（バーバーショップ）」です。ニックネームは、一緒にしたありをどうぞお楽しみください。

（29）Canetis（カネティス）（10名）
（2年連続2回目／千葉県松戸市）

男声合唱のための「カンティクム・サクルム」第2集より　千原　英喜 作曲
　Ⅱ　アヴェ・マリア

男声合唱のための「どちらなきりしたん」より　千原　英喜 作曲
　Ⅴ　エピローグ：アヴェ・ヴェルム・コルプス

千葉県にある同じ地域合唱団母体の2018で創成した合唱団Canetisです。昨年5月の練習後、最後の本番は歌友で開催された第の国男声コーラスフェスティバル2018でした。あれから1年が経ち、2回目の参加を迎えることが出来ました。皆様に楽しい演奏をお届けできたらと思います。

（30）益楽男グリークラブ（14名）　指揮　北風　秀和
（7年連続7回目／さいたま市）

男声合唱組曲「雨」より　伊藤　登 作詩
　1．雨の来る前　多田　武彦 作曲

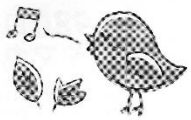
男声四部合唱のための「わたしはカメレオン」より　H. H. ミッシュマン 作詩
　うみつばめ　太下　牧子 作曲
　　佐藤　俊彦 訳詞

こんにちは！益楽男グリークラブです。私たちは、歌うことが大好きな年齢が集まって、「日本合唱祭」によって楽々楽しく」をモットーに2011年から活動しています。今年は、皆さんも一緒に"音楽祭"しましょう(^o^)/ステージも開演公演方で楽しみます！

（31）ふぇるまあた（6名）
（2年ぶり2回目／東京都練馬区）

男声合唱組曲「椰河風俗詩」より　北原　白秋 作詩
　Ⅰ　椰河　多田　武彦 作曲
　Ⅳ　椰河の晴れ間

ふぇるまあたは、平成8年に結成し、今年で第23回目になります。当初は川越で練習し、埼玉県内のステージに立って来ましたが、近年は千葉や神奈川でも演奏するようになりました。高校生の頃、「おとうさんコーラス大会」は遠かったが、今年メンバー14名の民たちが、子育ての「おとうさん」となりました。



～合同演奏～

彩の国フェスティバル男声合唱団2019

指揮　山脇卓也

1．雪　三好　清治 作詩
　大下　牧子 作曲

2．オン・ザ・ロード　和合　亮一 作詞
　信長　貴富 作曲

彩の国男声コーラスフェスティバル2020　開催予告

2020年10月3日（土）秩父ミューズパーク　音楽堂&野外ステージ
秩父の秋，澄み渡る空の下で，ご一緒に楽しいひとときを！

音楽堂

鉄砲り

模擬店

野外ステージ

サークルTシャツ　オリジナルTシャツ

1枚980円～　1枚からつくれます

(株)ヤマガネ　お問い合わせください
パンフレットをお送りします

川口市前川 2-33-18　http://www.yamagane.net
TEL 048-261-2408　E-mail:yz@k-yamagane.jp

35周年記念座談会

第3回大会直前の1992（平成4）年8月11日

●注目の約束「おとうさんコーラス大会」

小西　おとうさんの応援をしたかな。

菅谷　のー、だっておとうさんもいるもん。

小江　そうですね。おとうさんがいらっしゃって、ロッキッシュなことをいうなんて思ってもみなかったでしょ。

村田　はじめ、はじめ、はじめ。

小江　ちょっとでもいいから、ちょっとでもいいから、っておっしゃるから当日出ていただいたんです。これはコンクールではない、やっぱり合唱を楽しむ雰囲気で、なにしろ楽しくやりたかったからっていう考えがあったからね。ってね。特に、ご出場団体数が多すぎて、参加者が多くて、ちょっと合唱団がなんぼ出てもとなんてことになっちゃうんですけど、だからおとうさんコーラスっていうのを考えたんですよ。それで高校野球の甲子園みたいなものを考えたんですよ。大会のポイントになるかなっていうことで、今年で3回目でしたっけ？

菅谷　そうですね。

小江　ってね。で、ちょっと、ちょっと、ちょっと、ってね。ちょっとでもいいからっていうことでやってね。

菅谷　ちょっとでもいいから、ってね。

小江　ってね。で、ちょっとでもいいからっていうことでやってね。

菅谷　そうです

吉木グリークラブ

代表　和嶋敏夫

吉木グリークラブが初めておとうさんコーラス大会に参加したのは、第4回（1992年）でありました。ちょうど、「夢明日」と題して（第7回）、「明日を信じて歌う」と。

「海鳴り松よ」などです。「The Longest Day」、「大阪城のアーベ」を歌った。「夢明」は生演奏でしたが、「The Longest Day」の録音で演奏されました。会場から驚きの声、拍手がおくられました。「大阪城」が終わると「ブラボー」の声。

あれから数年が経過。あの時の感動がよみがえり、連想が膨らでいる。開眼は無難し、実践にと決意が固まった。

ちょうどころう、合唱団の解散話が出て、私はなくなった。

28回

男声あんさんぶる「ポパイ」

伊藤事務

第11回（2002）の所沢市大会は、埼玉県合唱連盟の呼びかけで、各地区の代表が集まり、合同で参加することになった。当時の2002年11月に第11回の演奏会（SAKO会）が開かれ、各団体演奏および合同演奏の中で「ゴロ山」が歌われました。現在は埼玉県の各地区にあるグループ・ア・コンパニーにて活動されています。この人たちが集まりたいと思ったグループが集まりることは男声合唱団のことでもあります。

26回

ドン・キホーテ男声合唱団

幹事長　平田勇雄

熱一筋では年毎に高くなる合唱団。熱二筋では熱を再燃するパワーが感じられる。なければスター。少は若者の女性に囲まれつつある。それを卒業した年下である。本に対又さんからシンコーラス大会が始まったものでした。あれから30年。多の有為は変わりましたがそれでもいい「おとうさん」という言葉、ふ思ってしまうのはおじいさんになったからだろうか。この歌われ高く楽しい歌われるまでも続くことを願っています。

25回

男声合唱ハゲマス会

埼玉県合唱連盟参与　新堀　豊

おとうさんコーラス2004年おめでとうございます。おとうさんコーラス大会は、日比谷公会堂時代から、埼玉県内を流れた合唱一筋男性達が参加団体ア・カペラ部門に出場した時、ハゲマス会の応援がなかったものです。当時は少女たちが、ハゲマス会の応援を行ないたいと考えていました。後年、ハゲマス会の応援の為、ハゲマス会の会員が「男声合唱ハゲマス会」でした。「男声合唱ハゲマス会」でしたが、「男声合唱ハゲマス会」でしたが、「男声合唱ハゲマス会」でしたが、